

一年の節目を迎える年の暮れ
私たちが音楽の贈りもの
曲名は、『ありがとう』

広

報

あつま

2010

12

No. 700

いのち満ちる 農(みのり)の里あつま 大いなる田園の町

変化の始まり

第163号（昭和41年4月）から、サイズがタブロイド版からB5版に。その後、第303号（昭和53年1月）では、紙質がざら紙からコート紙に。第392号（昭和60年4月）では題字『あつま』の字体が毛筆体から、デザインされた字体に変わりました。



第232号の表紙は初のカラー印刷。荒々しい厚真川の流れが印象的です。昭和41年からは、正月号の表紙が毎年、カラー印刷されることになりました。

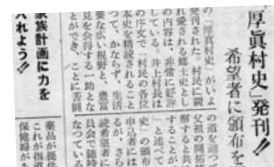
下の写真も同じく第232号。過去を振り返ると、現在も続く厚真の『農業・福祉』などの基盤は、先人が築き上げてくれたもの。当時の広報の紙面でも、様々な取り組みが紹介されています。



行政が今、何を行っているかを住民全体に伝えることが、住民の手による村づくりの第一歩。昭和20年代から30年代に作られた広報では、どこの町や村でも行政からのお知らせなどが多くを占めていました。

開村60周年

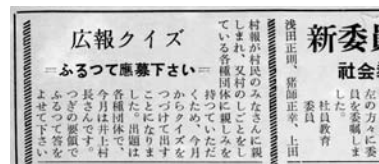
厚真村開村60周年を特集した第49号（昭和31年）。この60周年の記念を機に、待望の厚真村史が刊行される運びとなります。



開村60周年記念事業を、この年（昭和31年9月）に行うことを計画。広報を通じて住民に周知されました。



クイズ、登場。



上の写真は、昭和32年8月に発行された第62号。これまでにない企画に、当時驚かされた方も多かったのではないのでしょうか。初登場、『広報クイズ』。現在の広報にもある長寿コーナー。

昭和27年1月、厚真村最初の広報「村報厚真」が創刊され、全戸に無料で配布されました。当時の村長、池田宗正さんによる創刊の言葉には、「村報厚真は、その使命に徹し、公正をして村民に親しまれ愛されるものになるよう期待する」と記されています。

行政が今、何を行っているかを住民全体に伝えることが、住民の手による村づくりの第一歩。昭和20年代から30年代に作られた広報では、どこの町や村でも行政からのお知らせなどが多くを占めていました。

第20号の内容、写真の建物は、昭和28年当時の、役場庁舎です。



凍れる雪の真下より
希望の命燃やしつつ
伸びゆく若芽を思うとき
若き力の歓びは
われらが胸に溢れるなり
（厚真青年の歌 一番抜粋）

上のマークは、一般応募で昭和29年に改正された村の紋章。村民和協の意を現す。右上は、影山豊さんが作曲した『厚真青年の歌』。



縦2枚に並べられた写真は、村民運動会の様子。左側の記事は、胆振青年陸上競技のことです。

これらについて、厚真町では主に広報紙、ホームページなどを通して『広報』と『広聴』、2つの機能を互いに連携させながら、町の皆さんとの架け橋となるような広報活動を展開しています。

さて、町の広報活動の中で最も古くから続いている広報紙。時代の流れの中で、どんな歴史を歩み、それぞれの広報に一体どんな思いが込められてきたのか、振り返ってみましょう。

特集

発行スタート

昭和27年1月に発行された創刊号。「公正の念をもって、村民に親しまれ愛される、『村報厚真』であることを期待する」。当時の村長、池田宗正さんによる創刊の言葉の一文です。

第1号の広報はタブロイド判（通常の新聞の半ページ分の大きさの型）、裏表の二面刷りでスタートしました。



記念すべき広報の第1号、トップの記事には『農業振興五カ年計画立案』。その他に、税や教育についての情報、また新たに国民の祝日として『成人の日』が定められたことなども掲載されています。



「講和の暁にかがやく、新春を迎え、そのプレゼントに『村報厚真』を贈ることのできる喜びは無上である」。

…編集後記には、当時の時代背景や担当者の苦勞が感じられます。

さて、町の広報活動の中で最も古くから続いている広報紙。時代の流れの中で、どんな歴史を歩み、それぞれの広報に一体どんな思いが込められてきたのか、振り返ってみましょう。

厚真町広報の58年

歩み続けて、



広報『あつま』が現在の形で発刊されたのは今から58年前、昭和27年1月のこと。今回発行する平成22年12月号で、めでたくちょうど700号を迎えました。

700号となる今回、これまで町民の皆さんと行政との架け橋となってきた広報紙のこれまでの歩みを振り返りながら、あらためて広報広聴の役割についてご紹介します。



広報と広聴 その役割とは？

『広報』という用語は、戦後、『パブリック・リレーションズ（PR）』という言葉がアメリカから導入された際に、その訳語として誕生しました。

現在、行政のPR活動として、幅広い意味で使われている広報は『広報』と『広聴』の2つに分けられ、それぞれ次のような役割を担っています。

【広報】
町の施策や事業などの行政情報を分かりやすく提供し、町民の皆さんの理解を得て参加してもらう。

【広聴】
意見・要望など町民の皆さんの声を広く聴き、町づくりに生かしていく。



町制30周年



第457号
(平成2年9月)

平成2年、厚真町はいよいよ町制施行30周年を迎えます。その前々年、第428号(昭和63年4月)から広報のサイズがB5判から現在と同じ、国際規格のA4判に変更。また、記念の年を控え、町制30周年にまつわる企画が、次々と始まりました。

上の写真は、平成2年9月号に掲載された「わがマチ30年」の特集記事。“未来に向かって発進”と本文内容にも力強さを感じます。

平成12年からは、編集者自らレイアウト等を含め、パソコンで編集作業を行うDTPを導入。紙面内容を考案し、全体のデザイン、レイアウトなどのリニューアルも広報担当者が行うようになり、現在に至っています。

気持ちとは裏腹に、思うようにいかないことも多々…。機嫌が悪くてあつという間に終わる時もあれば、機嫌が悪くて、どんなに一生懸命あやしても、時間や日を変えて伺っても泣いて撮影できないという時もありました。思うような写真が撮れなくて泣きたくなることもありましたが、今では懐かしい思い出です。皆さんの力をおかりしながらの7年間でしたが、今では、私の大きな『心の財産』です。

広報紙『あつま』の移り変わり

名称	発行年月日	規格等
厚真村報	昭22年4月	B4判、ガリ版刷り、各班回覧。
村報厚真	昭29年1月	タブロイド判、創刊号、2ページ建て、全戸配布になる。
町報あつま	昭35年1月	町制施行に伴い、名称を「町報あつま」に変更、4ページ建てのものが出始める。
	昭38年5月	A4判、4～10ページ建て。
広報あつま	昭41年4月	B5判、名称を「広報あつま」に変更。
	昭47年1月	この年から新年号だけ、カラー表紙。
	昭54年9月	この月から昭55年1月号まで全ページ2色刷り。
	昭55年4月	20～30ページ建て。
	昭57年4月	表紙がカラーになる。
	昭58年4月	表紙に赤ちゃんの写真を掲載。
あつま	昭63年4月	A4判にサイズを拡大。
	平元年4月	名称を「あつま」に変更。
あつま	平元年5月	本文の一部が2色刷り。



Interview



元広報担当
佐々木春香さん
(現教育委員会)

私は平成8年から平成15年までの7年間、広報を担当しました。初の女性の広報担当として「女性らしい視点で、今までとは違った広報づくりを期待している」と言われての異動で、プレッシャーを感じたのを覚えています。担当当初は、ワープロと『割付用紙』という専用紙を使って広報紙を作成。ほとんどが手作業で、その場では出来上がりが見えないため、慣れるまで編集作業が深夜に及ぶことも度々ありましたが、その時教わったことは、数年後にパソコン編集が変わってからも、そして今でも役に立っています。最も思い出深いのは、当時表紙を飾っていた子ども達の写真撮影です。毎回「笑顔の写真を撮ろう!」と意気込みだけは十分なのですが

厚真町は今、行政と住民の皆さんとの『協働』(共に考え、共に行動すること)による自主・自立のまちづくりの実現に向け、歩み始めています。

広報は、この『協働』のまちづくりを進める上で、情報を共有するための土台となるもの。行政と住民とをつなぐ『心のパイプ』としての役割が、今後ますます重要になってくると言えるでしょう。

広報紙は、読むつもりのあるなしにかかわらず、毎月各戸に配布されます。読まれることなくゴミ箱行きになってしまいう広報では、情報が本場に届いたことにはなりませんし、それではちよつと悲しいですね。

心掛けていくこと、“読む皆さんの心をつかむ広報”を。何よりもまず、町民の皆さんの手にとってもらえる1冊を作るため、私たちの努力はこれからも続きます。

参加する。その考えや様子を広報紙で再び取り上げる。この反復が町づくりにとって最も大切なことです。

Interview



記者
河村俊之さん
(苦小牧民報社)

最初、あまりのボリュームに驚きましたねと10月1日から厚真に住み始めた河村記者。「内容として読みごたえがあると思います。地域の話題、人、声、文化など、そういった町民の関心をひくような情報が盛り込まれている。さらなる期待を込め、提案させてもらうなら、厚真の子どもたちは明るく活発な子が多いので、広報紙の中でも子どもたちが自由に投稿できるコーナーがあっても面白いかもしれませんね。そうすると、子どもたちも広報紙をしっかりと読むようになります。今後も地域の声を数多く取り込んでほしいです。」

人気コーナースタート!

現在も続いている人気コーナー“人物紹介”。旬の人にスポットを当ててお話を聞く、ロングインタビューのコーナーも始まりました。440号(平成元年4月)の発行から、呼び名を『青春グラフィティ』としてスタート。700号を数える現在は『出会いいきいきふるさと図鑑』として掲載が続いています。

広報では、住民の皆さんの声を反映し、町民皆さんと行政をつなぐ「心のパイプ」となるような広報活動が続けています。町民の皆さんが主体となっている町づくりに、広報活動は欠かせません。あらゆる情報を伝え、それを基本に皆さんが考え

変わらぬ目標

広報で、いつの時代も変わらず呼びかけているテーマ…。その代表的なものの一つが、交通安全です。昭和63年には、交通安全意識の共有化を目的に『セーフティ厚真』と題したコーナーが登場。道内において、免許を取得したばかりの若者からベテランドライバーまでの、悲惨な交通事故の現場が7年に渡り掲載されています。事故の恐ろしさを紙面で感じてもらい、町民に交通安全を促しました。



第450号
(平成2年2月)

平成22年6月、厚真町は交通事故死ゼロ1500日を達成し、次なる目標である2000日に向けて今もなお挑戦が続いています。事故死だけではなく、交通事故そのものが起こらない町に…。変わることのないこの目標をテーマに、広報での呼びかけも決して終わることがありません。



第694号
(平成22年6月)

Interview



杉井紀子さん
(ルーラル)

厚真のルーラルビレッジに移り住み、23年目の杉井さん。「当時、移住してすぐに情報を得る上で、広報紙が一番役にたちましたね。細やかに、ここの広報紙は町の情報が載っていると思います。来た頃から続いているコーナーが『人物紹介』。毎回、あれが一番楽しみで見えていますね。私も地域で新聞を作っているんですが、スペース内に字数をおさめるのが大変。でも、小学生の時から壁新聞を作るのが好きでした。その延長線上で、今も楽しく作っていますよ。これからも『広報あつま』期待您的ます!創刊700号本当におめでとうございます。」

『ルー』新聞

発行者
地域通貨『ルーの会』事
010年(平成22年)11月10日(水)



平成13年創刊。ルーラル自治会における地域通貨“ルーの会”の周知を目的に作られた。現在25号目を発行。

親しみやすい
紙面づくりに向かって

紙面のスタイルが現代のものに近づいてきたのは、昭和54年ころから。『健康情報』、『町の話題』、『人物紹介』などのコーナーが設けられたほか、“親しみやすい紙面づくり”を目指し、生活に役立つ情報や町民の皆さんの声を盛り込んだ記事が次々と登場します。

その後、昭和59年に始まった『ルーラルビレッジ』の分譲により、新しく厚真に移り住む人々が飛躍的に増加。古くから住む町民の方と新しい町民の方、同じ厚真町民としてコミュニケーションのきっかけとなることを願い、この頃の広報では、さらに多くの町民の方に登場していた

これからの
広報が目指すもの



山家文雄文化祭実行委員長などによる開催式のテープカット



ステキな本物トガル刺繍



福祉センターの一角が茶室に様変わり

総合福祉センター会場



見事な菊に見入る来場者



50周年記念衣装で踊る厚真町ダンス同好会。目を見張る芸術発表がいっぱい

厚南会館会場



厚南会館玄関は生け花でお迎え



厚真町長賞を受賞した木鉢

総合ケアセンターゆくり会場



ともいき荘入居者の作品にうっとり

ライオンズクラブ主催による「第25回中高生意見発表会」の中学生の部でライオンズクラブ賞に輝いた野澤卓磨くん（厚真中1年・右）と高校生の部で同賞を受賞した滝本瞳さん（厚真高校2年）

青少年センター会場



食改協が減塩をテーマに試食会

毎年恒例の「読み聞かせボランティア」子どもたちに大人気!!

「クリスマスリースを手づくりして飾るんだよ」

公共施設等 年末年始ガイド

町の機関

役場、役場支所	12月31日～1月5日休み (役場は日直在庁)
総合福祉センター	12月31日～1月5日休み
総合ケアセンター「ゆくり」	12月31日～1月5日休み
厚南会館	12月31日～1月5日休み
青少年センター	12月31日～1月5日休み
創作館	12月31日～1月5日休み
スポーツセンター・スタードーム	12月31日～1月5日休み (30日は午後5時で閉館)
こぶしの湯あつま	・12/30 困 通常営業 日帰り入浴10:00～22:00 レストラン11:30～20:30 ・12/31 困 - 日帰り入浴10:00～22:00 レストラン11:30～14:30 ・1/1 国 - 日帰り入浴11:00～20:00 レストラン12:00～15:30 ・1/2 国 - 日帰り入浴11:00～22:00 レストラン12:00～20:00 ・1/3 国 - 日帰り入浴10:00～22:00 レストラン11:30～20:00 ・1/4 国 通常営業 日帰り入浴10:00～22:00 レストラン11:30～20:30 ・1/5 ～ 困 通常営業

病院

あつまクリニック	12月29日午後～ 1月3日休み
厚真歯科	12月29日午後～ 1月3日休み
桂歯科クリニック	12月29日午後～ 1月3日休み

交通

あつまバス	路線バスは通常運行。 ハイヤーは12月31日が午前6時45分～午後5時運行、1月1日～3日運休
循環福祉バス	12月31日～1月2日運休

ごみ収集・し尿くみ取り

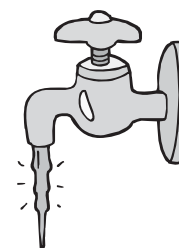
ごみ収集	ごみ収集 12月31日～1月3日休み 自己搬入 12月31日～1月3日休み
し尿くみ取り	12月31日～1月5日休み

郵便金融等

厚真郵便局	郵便・貯金・保険窓口 12月31日～1月3日休み ATM 12月31日午前9時～午後5時稼働。1月1～3日休止
上厚真郵便局	郵便・貯金・保険窓口 12月31日～1月3日休み ATM 12月31日午前9時～午後5時稼働。1月1～3日午前9時～午後2時稼働
軽舞郵便局	郵便・貯金・保険窓口 12月31日～1月3日休み ATM 12月31日午前9時～午後5時稼働。1月1～3日休止
苫小牧信用金庫厚真支店（窓口・ATM）	12月31日～1月3日休み
農協厚真支所（窓口・ATM）	12月31日～1月3日休み

水道凍結時の連絡先

12/29～12/31	木本建設（☎27-3331または松原宅☎27-3446、携帯090-4875-8779）
1/1～1/2	矢部建設（☎27-2178）
1/3～1/4	北辰公業（久保宅☎27-3468、携帯090-9081-1122）
1/5～1/6	厚信電機（☎27-2001）



■ごみ減量とリサイクルへの取組み

廃プラスチック類分別収集がスタートして半年以上が経過しました。平成22年度の廃プラスチック類は年間152トンの収集目標をたてており、半年分で76トンの計算になりますが、9月末で94トンとなっており、目標より2割程度上回っています。

これに対し、可燃ごみ・不燃ごみの収集量は21年度上半期の収集量と比べて、可燃ごみで約14パーセント、不燃ごみは約15パーセントとそれぞれ減少しており、「ごみの減量とリサイクル」を目指した廃プラスチック類分別の効果が着実に現れてきていると考えられます。

その一方で、汚れが付着したものや、紙製のカップめん容器といった廃プラスチック類対象外のものが混在されていることにより資源化されない事例が一部で見受けられます。今一度、「ごみ分別ガイドブック」を確認されますようお願いいたします。



平成22年4月～9月までの収集量								(単位:トン)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計	21年度 4月～9月
プラスチック	16	15	15	18	16	14	94	—
可燃ごみ	182	198	214	228	242	200	1,264	1,477
不燃ごみ	48	56	40	44	41	45	274	321

廃プラスチックはどこへ？

家庭から排出された廃プラスチックは、苫小牧市柏原にある明門工業㈱中間処理施設へ搬入されます。

搬入された廃プラスチックが選別機にかけられた後に、左の写真のように作業員が手作業で紙類等の不適物を取り除きます。

お願い！

汚れたままではダメ！

1つの汚れが、全体の汚れとなり、うまくリサイクルされません。

「二重袋」にしない！

二重袋：指定袋にレジ袋等で小分けにすること

危険物(ライター等)は入れないで！

ステーションから回収する際に不適物の混入を確認しなければならず、収集作業に余分な時間を要します。

危険物(ライター、スプレー缶、刃物等)が混入されていると、収集・選別それぞれの作業をする人にとって大変危険です。

財政状況

地方自治法の規定に基づいて、平成22年9月30日現在の安平・厚真行政事務組合会計の歳入歳出、財産、地方債の状況についてお知らせします。

予算の執行状況 (平成22年9月30日現在) (単位:円)

歳入	予算現額	収入済額	収入率%
分担金及び負担金	296,723,000	148,364,000	50.0%
使用料及び手数料	1,000,000	474,630	47.5%
国庫支出金	11,074,000	9,967,000	90.0%
財産収入	838,000	1,348,899	161.0%
繰入金	5,988,000	0	0.0%
繰越金	1,000	919,343	91,934.3%
諸収入	9,032,000	5,420,010	60.0%
組合債	19,900,000	0	0.0%
歳入合計	344,556,000	166,493,882	48.3%

地方債の状況

区分	平成22年9月30日現在高
一般廃棄物処理事業債	228,842 千円
道貸付金	4,532 千円
合計	233,374 千円

※ 国などから借り入れた長期間の借入金です。

歳出	予算現額	支出済額	執行率%
議会費	159,000	49,125	30.9%
総務費	21,434,000	11,111,749	51.8%
衛生費	275,023,000	117,614,035	42.8%
公債費	46,940,000	22,689,919	48.3%
予備費	1,000,000	0	0.0%
歳出合計	344,556,000	151,464,828	44.0%

組合財産状況

建物	2,123.03 m ²	塵芥(じんがい)処理場 有機物供給センター 保管庫
物品	車両 3台	公用車 ホイールローダー 油圧ショベル
基金	25,902 千円	廃棄物処理施設整備基金

※ 物品は、購入金額百万円以上を記載しています。

安平・厚真行政事務組合のページ

■平成21年度のごみ処理状況

安平・厚真行政事務組合では、2年前より毎年広報を通して1年間のごみ処理の状況を公表しています。

平成21年度において、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせしますので、発生源である私たち一人ひとりが今一度『ごみ問題』について考えてみましょう。



ごみの排出量

安平町・厚真町における過去5年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ1のとおりです。

平成21年度は前年度と比べ、家庭系と事業系のごみを合わせて安平町で62トン、厚真町では59トン増えました。増えた要因を分析しますと、家庭系のごみは下げ止まりから微増となったこと、また、事業系は前年度に安平・厚真両町で実施した緊急雇用対策事業の実施に伴う町道、河川敷、公園の枝払いによる枝木の搬入によるものと考えられます。

ここ数年、安平・厚真両町の家庭ごみは大きく減少していましたが、平成21年度の実績に現れたように減量の下げ止まりの局面と思われます。ごみを継続的に減らし続けることは不可能ですが、無駄なごみを増やさないことだけは常日頃心がけたいものです。



資源化の推移

平成21年度のリサイクル率は前年度対比で0.9ポイント下がりました。主な要因として古紙類が減少し、その一方でごみの排出量が増えたことによりです。

(単位:トン・%)					
	H17	H18	H19	H20	H21
鉄屑	98	100	71	55	71
紙パック	3	2	2	2	2
ペットボトル	62	73	59	52	53
びん			95	105	105
缶	138	125	111	84	93
生ごみ堆肥化	232	220	211	199	193
古紙類	403	402	508	477	432
リサイクル率(%)	17.7	17.4	20.6	20.0	19.1

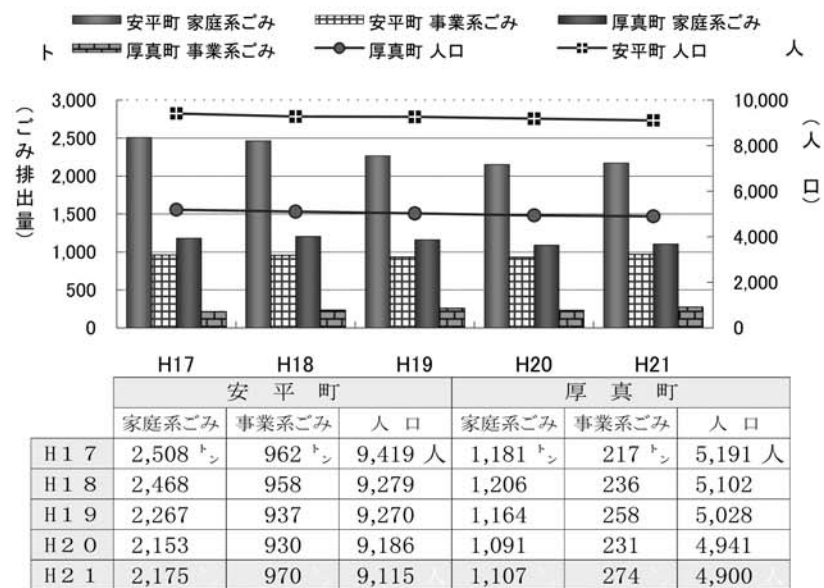


ごみの処理経費

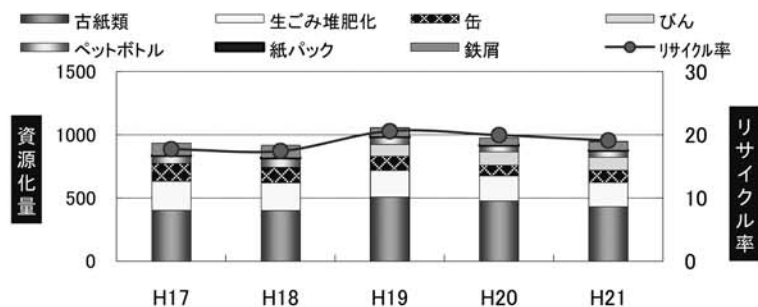
平成21年度のごみ処理経費の総額は、385,378千円で内訳はグラフ3のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、1トンあたり約55,000円の処理経費になります。また、平成21年度は、焼却施設や煙突を解体しストックヤード施設を整備するための新設改良費が新たにかかりました。

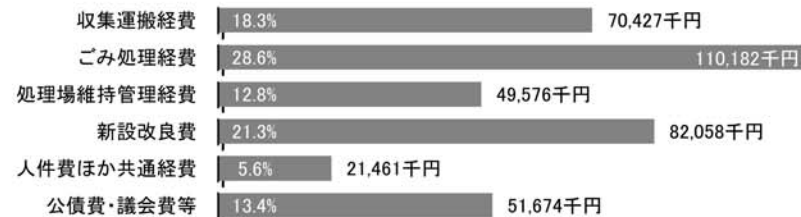
【グラフ1 ごみ排出量・人口推移】



【グラフ2 資源化の推移】



【グラフ3 平成21年度ごみ処理経費の内訳】



※ グラフ中、公債費は施設整備のため国などからの借入金の償還金、議会費等は組合議会の経費並びに監査委員経費です。

11月のまちの話題

岩手県奥州市議会など3団体が来町

「程よく田舎」あこがれの移住先「厚真町」が全国から注目!!

全国においても、移住促進に先進的な本町を参考にしようと11月19日、姉妹都市である奥州市議会など計3団体19人が視察のため来町しました。来町後すぐに総合ケアセンターゆくりで、移住促進所管のまちづくり推進課岩田善行参事、大坪秀幸主幹が、現在展開している生活体験などの移住施策や全国的にも人気の分譲地である「ルーラルビレッジ」、「フォーラムビレッジ」について説明。同課は平成18年にワンストップ窓口を開設し、移住者誘致のため毎年、宅地の販売促進や広告・宣伝などの新たな仕掛けを繰り返して、4年半で数多くの移住者を獲得してきました。このような取り組みが功を奏してか、今年度は富山県や長野県など7団体が道外から視察に訪れ、この日も視察員から移住事業における政策展開や宅地造成の整備財源に関心が集中。奥州市議の高橋さんは「道外へのPR活動も積極的。子育て世代の確保も真剣で感心した。これは参考になる」と話していました。



町担当者に質問を投げかける3団体の議員の皆さん

「ケータイのマナーって?」 富野小でケータイ安全教室

富野小学校（山本多喜男校長）では11月8日、同校で5・6年生児童、保護者を対象にケータイ安全教室が行われました。ケータイの使い方やマナーをテーマに、講師はNTTドコモ・安心インストラクターの近藤直子さん。

児童対象の午前の部で近藤さんは「携帯電話は便利だけど間違った使い方をする、おうちの人や友だちなど、いろんな人に迷惑をかけたり傷つけたりする」と危険性を示唆。また、飛行機や病院の中で使用してはいけないなど、使用マナーについて丁寧に子どもたちに教えていました。



児童の前に講演する講師の近藤さん

齊藤ひなのさん(上厚真小4年) ピアノで全国の晴れ舞台へ

齊藤ひなのさん(上厚真小4年)が、10月中旬に札幌市で行われた第1回ヨーロッパ国際ピアノコンクール本選を勝ち抜き、見事全国大会の切符を手に入れました。



賞状を手にピアノの前で喜ぶひなのさん

4歳からピアノを習い始め6年になる齊藤さん。地区予選・本選は5月から全国10カ所で行われ約850人が参加。課題曲部門で大会に挑み「スペインのバラ」と「ガボット」の2曲を表現力豊かに音色を奏でました。今回の優秀賞の獲得を齊藤さんは「今までの大会は緊張して思うように弾けなかったけど、今回は緊張しないで、ふだんの練習どおりに演奏することができました。東京へ飛行機に乗って行くのが楽しみです」と胸を高鳴らせていました。全国大会は、11月27日に東京で行われました。

ちびっ子たちが熱演。みつば保育園でおゆうぎ会

みつば保育園（佐藤泰夫園長）のお遊戯会が11月28日、高齢者生活支援センター「ならやま」で催され、父母や地域住民多数が見に訪れました。ベレー帽姿の全園児の合唱「ぶらんこ」の曲で幕開け。年長のさくら組は、「ドナドナ」の曲をハンドベルを使って美しい音色を響かせ、その他地域の歌である「あんたがたどこさ」の力強い踊りで、ポーズを決めた園児たちに会場から「かっこいい〜」の歓声が上がりました。最後の舞踊劇「泣いた赤鬼」の演技が終わると、子どもたちの普段とは違う、かわいらしく頼もしい姿を見た父母たちは、とてもうれしそうでした。



厚中の回収キャップ95キロ しらゆり会に思いを託す

厚真中学校（濱口明雄校長）生徒会がペットボトルのキャップ集めで、全校生徒や事業所に呼びかけながら95キロを回収し、町内の主婦が集まり同活動に取り組むしらゆり会（谷口芳江代表）に手渡しました。生徒が自主的に活動を調べ始めたのがきっかけ。キャップ800個でポリオワクチンに交換できます。高橋恭祐くん（3年）は「二人で多くの人を助けられれば」と話していました。



「おいしいお米ですよ!」 田んぼのオーナー出来秋

4回目を迎える町観光協会（寺坂文秀会長）主催の田んぼのオーナー事業の今年度の活動が終わり、11月7日、新米の引き渡しが行われました。春の種まきから行い、不作でも最低30キロは保証されます。オーナー21人は、幌内の小納谷さんの圃場で田植えや稲刈りなどを体験し、1区画当たり玄米で45キロを手に入れました。苫小牧の堀尾さんは「自分で育てた米はひとしお」と話していました。

優勝を喜ぶ試合後の選手たち



胆振・日高地区を華麗に制覇!! 厚中バレー部、栄冠を勝ちとる

厚真中学校（濱口明雄校長）バレーボール部が11月13日、苫小牧市沼の瑞中学校で行われた日胆5地区バレーボール大会で見事栄冠を勝ち取りました。各地区の代表校が集まった強豪ぞろいの今大会は、10チーム約100人が参加。

優勝の勝因を柳本監督は「練習試合のスコアを分析したら連続得点後の連続失点の多さに気がついた。その部分を試合中意識することで、うまくゲームを運べるようになった」と笑顔。「チームの目標はあくまで『全道ベスト4』。今回の優勝は一つの通過点」と力強く語っていました。



兵頭教育長にホッキ貝を手渡す澤口部会長

ホッキ貝70^{キロ}を学校給食に寄贈

鶴川漁協の厚真ホッキ部会（澤口伸二部会長）が、厚真沖で獲れた地場産のホッキ貝10^{キロ}を11月16日、学校給食センターに寄贈しました。後日、同センターに計70^{キロ}のホッキ貝が届けられ、19日の小中学校の給食メニューに、「ホッキカレー」として生まれ変わり登場しました。

今回給食センターを訪問した澤口伸二部会長は「これを機会に漁業者の仕事を知ってもらえれば」と話し、手渡された兵頭利彦教育長は「厚真を代表する海産物。朝水揚げされたばかりの新鮮な海の幸をありがとうございます」とお礼の言葉を述べていました。

“2010北の地域住宅賞奨励賞”を受賞

町が平成18～21年度に建設した本郷第2団地が11月15日、北海道地域住宅協議会総会において、「2010北の地域住宅賞奨励賞」を受賞しました。

同団地は、車イス利用者への配慮や共用玄関前のアプローチに地場産のセラミックブロックを設置し、冬期間の除排雪の労力低減に配慮。また積極的に緑化に取り組み、緑豊かで良好な住環境の整備が図られたことなどが高く評価されました。この日表彰式に出席した同町建設課森本雅彦主幹は「多くの人にこのような住宅が求められている。今回をベースに、さらに住み良い住宅団地を作っていきたいと」力強く抱負を語っていました。



奨励賞を受け取る森本雅彦主幹(右)

子どもたちの歌声で高齢者に元気を。

昭和63年にスタートし、今年で23回目を迎える「本郷団地敬老会」が本郷団地子ども会・同育成会主催で11月23日、本郷マナビィハウスで行われました。17人の地域の高齢者が出席する中、尾谷純司会長が「子どもたちも、この日を楽しみにしていました。今日1日、良き交流をはかってください」とあいさつ。続いて、子ども会会長の米澤祥平くん（12）が「おじいちゃんおばあちゃんに、僕たちの合唱を聞いてほしいです」と大きな声で呼びかけました。余興では21人の小学生が、「友がいるなら」など元気いっぱいに2曲を歌い、高齢者も手拍子で応えていました。



高齢者の前で合唱を披露する子どもたち

未来の学友、「よろしくね！」

上厚真小・軽舞小・富野小の3小学校による交流学習が11月12日、上厚真小で行われました。来年3月の軽舞小・富野小の閉校にあたって、受け入れ先の上厚真小が企画したもので、授業や給食、清掃などの時間をともに過ごし友情を深め合いました。昨年から交流学習は数回行われ今回が最後。この日は2校時目から軽舞小9人、富野小2人の1～5年生が参加。3年生の授業では、上小児童が学習発表会で演奏した曲を披露し歓迎の音色を奏でていました。軽舞小・山田誠一教頭は「子どもたちが互いに交流を深める時間をいただき感謝します」と話していました。



合同授業で演奏を披露する上厚真小児童

寒さに負けず、冬の交通安全啓発運動

11月12日から21日までの10日間、冬の交通安全運動の一環として、同運動の初日に、厚真市街地で「セーフティーコール」が行われ、各団体、事業所などから約70人が参加しました。開会式で激励に訪れた兵頭利彦教育長は「町民の皆さんの取り組みのおかげで、厚真町は交通事故死ゼロを1666日更新している。これは大きな成果。年末の繁忙期に差しかかるこの時期、もう一度気を引き締めて」とあいさつ。参加者は「シートベルトの着用」や「ゆっくり走ろう」などと書かれたのぼりを掲げ、ドライバーなどに交通安全、事故防止を呼びかけていました。



小雨の中、冬の交通安全を呼びかける参加者

まちの話題 plus



11月9日の給食メニュー

「僕らのカボチャがポタージュに!!」

“めっちゃ大好き人気メニュー” 学校給食に登場

富野小学校（山本他喜男校長）の全校児童が、学校給食センターに寄贈しようと総合的な学習の一環として、カボチャ栽培に取り組み、収穫したカボチャ120^{キロ}が11月9日、町内小中学校の学校給食で『カボチャのポタージュ』に変身して登場しました。

このカボチャのポタージュは昨年誕生した人気メニューで、玉ねぎや大豆、豆乳も入り、程よい甘さと滑らかな口あたりで児童をはじめ教職員も「おいしい」と大絶賛。学校給食センターの栄養教諭の富谷さんが考案し給食メニューに加えられ、この日424人の児童生徒に届けられました。富野小ではお昼になると「いただきます」と元気にあいさつし、多くの児童が自分たちが作ったかぼちゃをすぐにペロリと平らげ、お代わりの行列ができる人気ぶり。森山明日香さん（9）は「今日の給食が楽しみでした。厚真のみんなに食べてもらえるのがうれしい。カボチャの味がしっかりしてとてもおいしいです」と笑顔で話していました。



談笑しながら給食をほおぼる富野小の皆さん

日ハム「B・B」がこぶしの湯に登場

プロ野球・北海道日本ハムファイターズのマスコットキャラクター「B・B」の厚真町DVD上映会およびサイン即売会が11月23日、こぶしの湯で行われました。B・Bは、日ハムが札幌ドームの主催試合で試合前にオーロラビジョンで道内市町村を紹介する「212物語」の取材で昨春秋に来町し、サーフィンの名所である浜厚真をはじめ、炭焼き小屋や黄金色に染まった田んぼなど、本町の特色あふれるスポットで撮影。

この日B・Bに一目会いたくて、多くの人々が訪れた会場では、サイン会や記念撮影などが行われ、来場者は笑顔を見せていました。



B・Bと記念撮影をする子どもたち

厚中ナイン、元気に清掃ボランティア

厚真中学校野球部（児島芳之監督・部員13人）が11月2日、地域に感謝の気持ちを込め、学校周辺を中心に町内の清掃ボランティアを行いました。

開校記念日のこの日、先月で対外試合も終わり、オフシーズンへの切り替えの意味も込めた今季締めくくりの清掃活動。児島監督や部員たちは、小雨が降る中、新町・京町・表町・本郷などを回りました。部員たちは道行く町民や目の前を通過するドライバーに、元気よくあいさつしながら落ちている空き缶などを拾い集めていました。両手に抱えるごみ袋はすぐにいっぱいになり、「自分たちの住むマチが少しでもきれいになれば」と願っていました。



ごみを丁寧に拾い集める部員たち

ゆくりで健康づくり講演会

町主催の健康づくり講演会が11月4日、総合ケアセンターゆくりで行われ、高齢者大学の学生など約50人が参加しました。講師に招かれたあつまクリニックの小林医師が「地域医療～35年間を振り返って」と題して講演。これまで、癌専門病院、へきち医療施設、脳外科病院などで勤務され、平成4年にあつまクリニック院長に就任されました。講演の中で小林医師は「慢性化、長期化しやすく、現代人に恐れられる生活習慣病に着目すべき」と提言し、「これからも地域住民の健康を考え、町ともタイアップしながら健診活動に努めていきたいと話していました。



真剣なまなざしで講演に耳を傾ける参加者

	職 種 (勤務先)	人 数	年 齢	応募資格	勤 務 条 件
厚真町教育委員会	スポーツセンター 臨時事務職員	1人	60歳以下	普通自動車免許を取得 していてパソコン(ワード・ エクセル)を使える方	①時 間 午前8時30分～午後5時30分のうちの 7時間45分 ②勤務日 土曜・日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 月額135,600円(更新の場合、賞与あり) H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	埋蔵文化財発掘事業 臨時事務職員	1人	60歳以下	普通自動車免許を取得 していてパソコン(ワード・ エクセル)を使える方	①時 間 午前8時30分～午後5時30分のうちの 7時間45分 ②勤務日 土曜・日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 月額135,600円(更新の場合、賞与あり) H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	青少年センター 図書室管理職員	1人	70歳以下	簡単なパソコン操作の できる方	①時 間 火曜・木曜 午後5時15分～午後7時15分 土曜・日曜 午前9時～午後5時 ②勤務日 祝日を除く火曜・木曜・土曜・日曜 ③賃 金 時給800円 ④勤務期間 H23年4月1日～H24年3月31日

- ◆共通応募資格 ・原則として町内在住の方です。
・募集職種の年齢は、平成23年4月1日現在の満年齢です。
- ◆応募方法 履歴書(写真貼り付け)と、応募に際し資格を必要とするものについては、資格証明書または
資格取得見込み証明書を添えて、役場総務課総務人事グループへ提出(郵送可)してください。
- ◆応募期限 平成23年1月14日(金)必着(郵送の場合は、同日消印のあるものまで有効です)
- ◆選考等 選考は、面接または書類選考となりますので、後日通知します。
- ◆勤務期間 勤務期間については、延長更新する場合があります。
- ◆その他 ・応募がない職種については、任意採用する場合があります。
・社会保険などは、健康保険法、厚生年金保険法および雇用保険法に基づいて適用されます。
- ◆応募・お問合せ先
役場総務課総務人事グループ(〒059-1692 厚真町京町120 TEL27-2322 内線214)

平成23年度 厚真町役場臨時職員を募集します

◆募集職種等

	職 種 (勤務先)	人 数	年 齢	応募資格	勤 務 条 件
厚 真 町 役 場	保育園保育士 (京町保育園・ へき地保育所)	11人	60歳以下	保育士の資格を有する 方か、資格取得見込みの 方	①時 間 午前8時～午後5時のうちの7時間45分 ②勤務日 日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 月額142,300円～ (更新の場合、賞与あり) H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
		3人	60歳以下	保育士の資格を有する 方か、資格取得見込みの 方	①時 間 午前8時～午後5時のうちの7時間45分以内 ②勤務日 日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 時給930円 ④勤務期間 H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	保育園調理師 (京町保育園)	1人	60歳以下	調理師の資格を有する 方か、資格取得見込みの 方	①時 間 午前8時～午後4時のうちの7時間以内 ②勤務日 日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 時給800円～ ④勤務期間 H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	保育園清掃員 (宮の森保育園)	2人	65歳以下	健康で、熱意のある方	①時 間 1日 2時間30分 ②勤務日 日曜・祝日を除く日で2人によるシフト制 ③賃 金 時給800円 ④勤務期間 H23年4月1日～H24年3月31日
	学童保育 指導員・ 学童保育 指導員補助 (厚真地区・ 上厚真地区)	6人	60歳以下	保育士、教員、児童館厚 生員の資格を有する方 か、保育士、教員の資格 取得見込みの方、または 学童保育に関心のある 方	①時 間 平 日：午後0時30分～午後6時 学校休日：午前8時30分～午後6時 ②勤務日 日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 学童保育指導員 時給 930円 学童保育指導員補助 時給 840円 ④勤務期間 H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	町民福祉課 保健師	1人	60歳以下	保健師資格を有する方 で、普通自動車免許を取 得している方	①時 間 午前8時30分～午後5時30分のうちの 7時間45分 ②勤務日 土曜・日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 月額164,300円～ (更新の場合、賞与あり) ④勤務期間 H23年4月1日～H23年9月30日 (H24年3月31日まで更新の場合あり)
	公園維持 管理人	5人	65歳以下	普通自動車免許を取得 している方	①時 間 午前8時30分～午後5時30分のうちの 7時間45分 ②勤務日 土曜・日曜・祝日を除く毎日 ③賃 金 月額170,900円 ④勤務期間 H23年4月1日～H23年9月30日 (H23年11月30日まで更新の場合あり)
	大沼野営場 管理人	1人	70歳以下	普通自動車免許を取得 していて、刈り払い機を 操作できる方	①時 間 1日 4時間 ②勤務日 5月 10日間 6月～9月 各23日間 ③賃 金 時給 1,000円 ④勤務期間 H23年5月1日～H23年9月30日

地デジ放送受信用 チューナー の貸出を行っています

平成23(2011)年7月24日に現在のテレビ放送(アナログ放送)は終了します。

地デジテレビの購入を考えているけれども、自宅で地デジ放送が受信できるか不安を感じているいる方はいらっしませんか。

町では、「地上デジタル放送受信用チューナー」の貸し出し(期間は1週間)を行っています。

地デジテレビ購入前の事前チェックに、または、地デジ放送の体験にご利用ください。



地デジチューナーのイメージ図

問い合わせ先

役場まちづくり推進課企画調整グループ

TEL27-3179

FAX27-2328

E-mail machidukuri.h@town.atsuma.lg.jp

私の大切な家族

ジロー ♂ 4歳（犬・柴犬）

上厚真 ^{やまだ}山 ^{こうへい}田 光 平 さん家族



ジローと山田さんはいつも仲良し！

これがまさに“空前のサプライズ”。ある日、千葉県に住む息子さんから、柴犬のプレゼントが届いた。理由は子どもが巣立った後、故郷で両親がさびしい思いをして暮らしているのではないかと親思いの心から。
「最初は突然すぎて本当に驚きました。『動物はいらないな〜』と思ってたんですが、いざ実際に抱きあげてみると愛しくてたまらなくなっただけですよ」と話す。ふだんは、噛まない・吠えない・ケンカしない温厚なジローだが、なぜか猫に出会うとよくケンカをする。「今年の1月、私たちが留守の間に自宅で野良犬に襲われ瀕死の重傷を負ったんです。その時、役場の職員の方がすぐに病院に連れて行ってくれて、一命を取り留めることができました」と感謝してもしきれないと山田さん。「ジローがいない毎日は考えられない…」。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課課企画調整グループまで（☎27-3179）

本

私の出会った素敵な本

「サクリフェイス」
近藤史恵／作

本 郷 ^{かわはた}川 畑 ^{せん}千 さん

「この本はサイクルロードレースが舞台の小説です。タイトルの『サクリフェイス』とは“犠牲”を意味するんです。自分の順位は後回しにしてあくまでチームのため、エースのために働くアシスト役が主人公。映像がなくても、活字からその疾走感や迫力が伝わってきますね」と川畑さん。自らも自転車が好きだったせいか、ある時、ヨーロッパではサッカーに次ぐ人気、サイクルロードレースの魅力に引き込まれた。「テレビなどでレースを見てるとよくわかりますが、他の競技ではないような独特のかけひきがあるんです。そのおもしろさや奥深さは、この競技を知らなくても伝わってくるんですよ」と白い歯を見せる。北海道庁から2年の期限付きで厚真に向向してきた川畑さん。東京や札幌にいた頃は、通勤時間を利用して本を読んでいたため、車通勤の今は読む量が減ったという。住み始めて1年半が経過し厚真の印象を、「このマチの魅力は住んでみないとわからないかも…。住んでみて初めて良さがわかります。不思議な感じですね」と話し笑みを見せた。



出 会

人

い

き

い

き

ふるさと

凶

鑑

記者になり改めて新聞を面白いと感じた

京 町 ^{かわむら}河 村 俊 之 ^{としゆき}さん（28歳）

10月1日に胆振東部支局長として厚真に着任した河村さん。新聞記者から見たこのマチの印象は？
「生まれも育ちも苫小牧なんです。昔はとにかくおとなしい子で、いろんな人や状況を観察しながら多くのことを我慢していたと思います。例えば幼稚園の頃、子ども同士で三輪車の取り合いになってもそれを黙って見ていた。自分も乗りたいのに。みんなが飽きて乗らなくなつてから遊んでいたんです。『なぜか？』、三輪車で楽しんでる子に『乗りたい』と告げるのが申し訳ないと思った。そういった場面が数多くあったんですけど、自然と人との衝突を避けていたんでしょうね。だからそのかわり人を嫌うことは今までなかったんですよ」と語る河村さん。親戚の勧めでアイスホッケーを小学校3年生から始めた。「同時に

その頃、僕には好きな物があつたんです。『マンガがですね』。お気に入りのマンガは欠かさず読み、いつもこう思っていたんです。「一つのマンガのストーリーを作りあげていくこと、その中で主人公が成長していく姿って、ものすごく説得力があるんですよ。感銘を受けていましたね」と当時を振り返る。アイスホッケー部は、小中とも練習も上下関係も厳しく何度も退部を考えた。だが小学生最後の試合を「自分のミスで落とした」ことが悔しくて悔しくて、その思いを励みに7年間続けることができたという。このためまぬ努力が河村さんの中の世界観を広げた。「新聞記者になつたのは、たまにまなんですよ。就職が差し迫った大学4年生の頃も特段就職活動せず、のほほんと過ごしていたんです。そんな頃、知人に苫小牧民

報社の採用情報を聞いて受けてみることにしたんです。願いは果たされ苫小牧民報社に入社することになった河村さん。「もともとメディアには興味があつたんです。けど所詮は素人だった。だから入社してから『ジャーナリズム』について、いろいろ勉強しましたね。とりあえず新聞記者の本を読みあさつたことを覚えています。記者になつて6年が過ぎた今、『改めて新聞記者って面白い』とこの職業に就けたことに幸せを感じています」と笑顔。日々の取材では、事実関係を間違えないこと、難しいことをいかにわかりやすく伝えるかを常に念頭に置いて奔走している。

「厚真に住んでまだ一カ月ですが、都会には無い魅力がここにはたくさんある。とにかく食べ物がおいしいですよ。生産者の方々にきちんとこだわりのあつて、その人たちの話を聞いていると本当に面白いんです。皆さんの真剣さがひしひしと伝わってくる…。住んでる人たちが一生懸命なのはステキですよ。きつと形になる前の思いは、このマチにはあると思います」と語気を強める。

「この先も新聞記者として、わかりやすい記事を書いて、読者に新聞って楽しいものだと思ってもらいたい。翌日の発行が待ち遠しいほどに。主体的には動けないかもしれないませんが、マチの変化を的確にとらえ、それを伝えていきたいです」と河村さんは抱負を話した。

掲載を希望するサークルなどはまちづくり推進課企画調整グループへ
(☎27-3179)



厚高インフォメーション



肌で感じた歴史と文化

高校生活最大の行事である見学旅行が今年も行われ、二年生三十二名が、十月二十六日から四泊五日の日程で、関西・東京の各地を見学してきました。初日、千歳空港発八時の神戸行きに乗るために、集合は午前六時厚高前でした。「寝坊する者もいるのでは？」と心配もしましたが、そのようなトラブルもなく、予定より早い時間に厚高を発することができました。

旅行前半の関西では、奈良・京都の古都の風情に触れ、教科書やテレビでしか知らなかった「世界遺産」の雄大さや重厚さを感じることができました。また、後半の東京では、人混みのものすごさと外国人の多さに、みなびつくりした様子でした。ディズニーランドでの大雨や帰る日の台風接近など、天気には泣かされてしまった今回の旅行でしたが、生徒たちの大きな楽しみである自主研修は、計画通りに実施することができ、大満足の旅行になりました。

それでも「やっぱり、北海道がいいな」と言う生徒が多く、わが町の良さを再認識した旅になったのかもしれない。

今月の記念日

12月11日は「胃腸の日」

年末年始は何かと胃腸に負担がかかる時期。胃腸のケアをしつかり行い、食事をおいしく食べられるようにと、日本OTC医薬品協会が定めました。「胃腸の日」(胃にイイ日)は、「セルフメディケーション」の一環として、胃腸薬の正しい使い方や、胃腸の健康管理の大切さなどをアピールする日でもあります。

セルフメディケーションとは、健康や医療に関する情報・知識を駆使して、健康管理や軽い病気、けがの手当てを、自らの判断で行うことをいいます。例えば、かぜをひいた時にOTC医薬品(薬局やドラッグストアなどで買える

OTC医薬品は手軽に購入できるのでとても便利です。しかし、薬の効き目を十分に引き出し、安全に使うためには、守らなくてはならないことがあります。購入する時には薬剤師・登録販売者(おくすりの専門家)に症状などを伝え、必ず相談してから買うことを習慣づけてください。例えば胃の調子が悪いといっても、いろいろな症状があり、症状に合った薬を選ぶことが大切です。胸やけやゲップに効く制酸薬、胃のもたれ、胸のつかえには消化薬、食欲不振には健胃薬、これらの働きをバランスよく組み合わせた総合胃腸薬など。

「胃腸の日」をきっかけに、自分の健康は自分で守る「セルフメディケーション」を実践してみよう。日本OTC医薬品協会のホームページでは、OTC医薬品を上手に使用するためのさまざまな情報を閲覧・検索できるので、活用してみてください。

文芸あつま ◆短歌◆

廃校の姿寂しき風の音に沸き起こる子等声ぞ聞くらむ

例月の歌会はわれの生きがいかな人生論議で時を忘れて

雪のひと日に生家を訪へば父母はあらねどなぜか心やすらぐ

(あつま文芸友の会発行『文芸あつま 第十五号』から抜粋)

(新町 徳地 美登)

(本町 飛谷 富夫)

(本郷 清水 隼)



上厚真小 1年 藤樫 健人くん(7)

「クリスマスリースです。どんぐりを上手につけたよ！木の枝を輪にするのが難しかったかな？」



わたしたちの作品



上厚真小 1年 日下 このみさん(7)

「トナカイの角を上手につけました。まつぼっくりのところがかわいいでしょ！点数は90点です」

ぼくの・わたしの クラスじまん

ともだちっていいな

その109

かるまいしょうがっこう 軽舞小学校



紹介してくれたのは…

軽舞小学校 1・2年生のみなさん

(書いてくれたのは) 先生に助けてもらってみんなて書きました



軽舞小学校の1・2年生は、4人のとても元気な子です。2年生は1年生に優しく、時には厳しく色々なことを教えてくれます。1年生もできることを自分なりにがんばっています。

軽舞には、豊松会というおばあちゃん・おじいちゃんの会があります。先日、その豊松会に行って昔の遊びを教えてもらいました。はじめは、こまを回すことができませんでしたが、練習してみんなが回せるようになりました。また、めんこをたたきつけてひっくり返すことは難しいのですが、おじいちゃんはずが、上手にできていました。他にも、竹とんぼやお手玉、おはじきや剣玉などで遊び、昔の遊びのコツを教えてもらいました。昔の遊びについて、たくさん質問もしました。

豊松会の方の願いは、みんなが元気に外で遊んでほしいということでした。1・2年生のみんなは、外で遊ぶのが大好きです。これからも、昔の遊びをみんなに教えて、元気に楽しく遊びたいと思っています。

軽舞小学校は、三月で閉校です。軽舞のすばらしいところを忘れずに、これからの生活につなげていければと思っています。

国民年金保険料の納め忘れはありませんか？

平成22年度の国民年金保険料は、月額15,100円です。保険料は、日本年金機構から送られる納付書により、金融機関・郵便局・コンビニエンスストアで収めることができます。納付書を紛失された場合には、年金事務所までお申し出ください。保険料は、納付期限（翌月末日）までに納めましょう。

手続きは役場国民年金窓口へ
「ゆくり」内にあります！

国民年金保険料免除等の申請について

経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合には、申請により保険料の納付が免除・猶予となる「保険料免除制度」や「若年者（30歳未満）納付猶予制度」があります。申請は原則として毎年度必要です。また、失業を理由とした特例免除制度もあります。

今年度の免除等の期間は平成23年6月までです。手続きは、役場国民年金担当窓口で申請できます。

国民年金保険料免除期間・納付猶予期間がある方へ 追納をおすすめします！

国民年金保険料の免除（全額免除・一部免除）・若年者納付猶予・学生納付特例の承認を受けられた期間がある場合、保険料を全額納めたときよりも将来の老齢基礎年金の受け取り額が少なくなります。

そこで将来受け取る老齢基礎年金を増額するために、これらの期間の保険料は10年以内であれば、さかのぼって納めること（追納）ができます。ただし、免除等の承認を受けられた期間の翌年度から起算して3度目以降に追納されると、当時の保険料額に一定の加算額が上乘せされます。

[平成22年度中に追納する場合の額]

	全額免除 納付猶予 学生納付特例	3／4免除	1／2免除	1／4免除
平成12年度の月分	15,770円	－	－	－
平成13年度の月分	15,180円	－	－	－
平成14年度の月分	14,590円	－	7,300円	－
平成15年度の月分	14,360円	－	7,180円	－
平成16年度の月分	14,180円	－	7,090円	－
平成17年度の月分	14,220円	－	7,110円	－
平成18年度の月分	14,260円	10,690円	7,130円	3,560円
平成19年度の月分	14,300円	10,720円	7,150円	3,570円
平成20年度の月分	14,410円	10,810円	7,200円	3,600円
平成21年度の月分	14,660円	10,990円	7,330円	3,660円

※平成20・21年度は、
まだ加算がつきません。
詳しくは、年金事務所へお問い合わせください。

国民年金についてのご相談・お問い合わせは、役場町民福祉課町民生活グループ（☎26－7871）
苫小牧社会保険事務所（☎0570－05－1165、0144－36－1165）

国民年金

国民年金は、20歳以上の国民みんなが加入する大切な制度です。一人でも多くの方に国民年金について理解していただけるよう、年4回に分けて、しくみなどを紹介しています。

所得税および住民税の申告において社会保険料の控除を受けるためには、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」（ハガキ）または「領収証書」の添付が義務付けられています。証明書は、日本年金機構本部から11月上旬または翌年2月上旬に送付されます。年末調整や確定申告の際には、証明書や領収証書が必要となりますので、大切に保管してください。なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合は、納付した額の全額を控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた証明書を添付のうえ、申告してください。

11月に送付される方

平成22年1月1日から平成22年9月30日までの間に国民年金の保険料を納付された方

翌年2月に送付される方

平成22年10月1日から平成22年12月31日までの間に今年初めて国民年金の保険料を納付された方（年の途中から国民年金に加入した場合など）

※「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている月分以外の保険料を12月31日までに間に納付した場合、今年分として申告ができます。「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」に記載されている保険料額に、後から納付した保険料額を合算して申告してください。なお、後から納付した保険料分の「領収証書」も添付する必要があります。

社会保険料（国民年金保険料）控除証明書については、くわしくは
控除証明書専用ダイヤル 0570－070－117 I P 電話からの専用ダイヤル 03－6700－1130
月～金曜日：午前8時30分～午後5時15分
ただし、月曜日（月曜日が休日の場合は火曜日）は午後7時00分まで受付
第2土曜日：午前9時30分～午後4時00分
※祝日、12月29日～1月3日はご利用いただけません（平成23年3月15日まで）

老齢年金をお受け取りの方は源泉徴収票が送付されます

老齢年金は、所得税法上の雑所得として課税の対象になっています。老齢年金を受けている方には、1年間の年金の支払総額などを記載した「源泉徴収票」が翌年1月下旬に送付されます。源泉徴収票は、年金以外に給与収入などがあり確定申告をする時や、源泉徴収の還付を受けられるときに添付する必要があります。

紛失した場合は再交付ができますので、お近くの年金事務所または「ねんきんダイヤル」（電話0570－05－1165）までお申し出ください。なお、障害年金・遺族年金は課税の対象となりませんので、源泉徴収票の送付はありません。



～年末調整・確定申告まで
大切に保管を～

社会保険料（国民年金保険料）
控除証明書が送付されます

防 止

歩行型除雪機による
事故を防ごう！

毎年、雪のシーズンになると除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際には、次の点に注意して操作しましょう。

①作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。

②雪詰まりを取り除くときは、必ずエンジンを停止し、回転部（オーガ、プロワ）が完全に停止してから雪かき棒を使って行いましょう。

③回転部に近づくときは、必ずエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから作業を行いましう。

④発進時は、転倒したり、挟まれたりしないよう、足もとや後方の障害物には十分注意しましょう。

⑤除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車・建物がいないことを確認しましょう。また、除雪機の回りには絶対人に人を近づけないようにしましょう。

申 請

入札参加資格審査申請書の受け付けをします

平成23・24年度に町が発注する建設工事等の入札に参加される方は、次により入札参加資格審査申請書を提出してください。

また、建設業以外の物品等販売指名を希望する町内業者の方は、入札参加資格審査申請書の提出を特に必要としません。

提出書類

入札参加資格審査申請書および工事または物件の販売等の実績など、指定の添付書類。

有効期限

平成23・24年度の2年間

受付期間

2月1日 因く2月28日 因
(土、日曜日、祝日を除きます)

受付窓口・問い合わせ先

役場総務課財政グループ
(☎2712321) 内線227

撲 滅

不正軽油ストップ！

北海道では、関係団体などとともに不正軽油を「売らない」「作らない」「買わない」「使わない」を合言葉に不正軽油の撲滅に向けた取り組みを強化しています。

不正軽油を見たり聞いたりした時は、「不正軽油ストップ110

北海道では、関係団体などとともに不正軽油を「売らない」「作らない」「買わない」「使わない」を合言葉に不正軽油の撲滅に向けた取り組みを強化しています。

不正軽油を見たり聞いたりした時は、「不正軽油ストップ110

予 防

鳥インフルエンザ対策を
願います

本病の発生予防を図るため、野鳥の鶏舎等への侵入防止、農場出入口での消毒の徹底、消石灰などによる畜舎周辺の消毒など飼養衛生管理の徹底をお願いします。特に、野鳥と家きんやペット鳥類の接触を防ぐため、次の点に心がけてください。

①防鳥ネットの整備等により野鳥の鶏舎への侵入を防止する。

②防鳥ネットに破れがないかなど野鳥等の侵入防止対策を点検する。

③鶏舎周囲に穀類等のエサや生ゴミ等の野生動物を誘引するものを置かず、清潔を保つ。

問い合わせ先

役場産業経済課農業水産グループ
(☎2712419)

案 内

平成23年「あつま新年交
礼会」のご案内

厚真町6団体が共催する「あつま新年交礼会」を開催します。

■日時 平成23年1月7日（金）
17時30分

■場所 総合福祉センター青年室

■会費 3000円

(当日会場受付にて)
出席される方は、当日直接会場

情 報

防災行政無線戸別受信機
は設置されていますか

にお越しいただくか、事前に世話団体の商工会までご連絡下さい。
(☎2712456)

町では、町内全世帯と公共施設、学校や事業所等に防災行政無線戸別受信機を設置し、災害発生時の情報伝達等に使用しています。

同受信機から流れる放送は、「防災行政無線」の名称で、災害（水害、台風、地震、津波）等の気象情報や災害が発生したときに限らず、行政情報、消防活動や自治体活動など多様な活用が図られています。

転入してきたときは、防災行政無線戸別受信機をご家庭に取り付ける申し込みをしてください。また、転出される場合も役場へご連絡ください。



防災行政無線戸別受信機

■設置にあたって
・戸別受信機は、無料でお貸し、

■防災行政用無線による団体別定時放送

放送している 機関・団体等の名称	放送している時間帯		備 考
	昼	夜	
役 場	12：20～ 12：30	20：00～ 20：10	役場から放送する地区を限定した放送は時間帯が異なります。
消 防	12：30～ 12：35	19：10～ 19：15	
J Aとまこまい広域 厚真支所	12：35～ 12：45	19：15～ 19：25	役場の放送時間を除く。
自治会	—	19：30～ 20：30	

■申し込み・問い合わせ先
役場総務課総務人事グループ
(☎2712322)

12月は町税・道税の
「滞納整理強化月間」です！

■厚真町を含む東胆振の1市4町と苫小牧道税事務所では、12月を「滞納整理強化月間」と位置付け、市町税・道税の滞納整理を強化します！！

■納税がお済みでない方は、早急に納税してください。催告に応じず納税されないときは、財産を差し押さえることになります。差押財産のうち、預金、給与などは取り立てし、家財道具、自動車、軽自動車などはインターネット公売で売却し、滞納金に充てます。

■本町では、本年度町道民税をはじめ町税等の滞納処分を8件実施しています。差押財産は、預金、給与、不動産等となっています。納税についてのご相談は随時受け付けますので、滞納せずに必ずご相談ください。

お問い合わせ
役場総務課税務グループ ☎0145-27-2481
苫小牧道税事務所納税課 ☎0144-32-5178

平成22年5月10日から5月24日に生まれたお子さんの
保護者のみなさまへ

21世紀出生児縦断調査(平成22年出生児)にご協力ください

厚生労働省では、少子化が進行する今日、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりの基礎資料とするため、21世紀に生まれたお子さんを対象として、お子さんの成長の様子や子育ての状況、子育ての悩みなどの変化を毎年続けて把握する「21世紀出生児縦断調査」を行っています。

これまで平成13年生まれのお子さんを対象に9回にわたって調査を行ってまいりましたが、今回新たに平成22年生まれのお子さんを対象とした調査を開始することになりました。

対象に選ばれたみなさまには、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

★調査の対象は、
平成22年5月10日から5月24日の間に生まれたすべてのお子さんを対象としています。

★調査の期日は、
平成22年12月1日現在としています。

★調査のしかたは、
調査票を、平成22年11月中旬ごろ、ご自宅に郵送させていただきます。
12月1日現在の状況で記入し、12月17日までに、同封の返信用封筒に入れてポストに投入してください。

★調査の発表は、
調査結果は概況として公表し、厚生労働省のホームページに掲載します。

お答えいただいた調査票は統計的に処理し、回答内容や個人情報等が外に出ることはありません。また、調査結果は統計及び研究資料以外には一切使用いたしませんので、ありのままをお答えください。

本調査について、ご不明な点がありましたら、下記へお問い合わせください。
厚生労働省大臣官房統計情報部 社会統計課縦断調査室 出生児調査係 日

代表電話 03(5253)1111 (内線7566)
直通電話 03(5253)2221 (平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
FAX 03(5253)1639
E-mail b-coder@hwl.go.jp

21世紀出生児縦断調査の結果は、厚生労働省のホームページに掲載しています。
「統計調査結果」→「最近公表の統計資料」 <http://www.ehr.go.jp/toukei/saiban/index.html>



北朝鮮当局による
人権侵害問題に対する認識を深めよう

日本人拉致をはじめ北朝鮮当局による人権侵害問題に関する国民の認識を深めるとともに、国際社会と連携しつつ北朝鮮による人権侵害問題の実態を解明し、その抑止を図ることを目的として、毎年12月10日から16日までを「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」とするとされました。どんな些細な情報でも構いません。拉致問題にかかるような不審情報は苫小牧警察署 (☎0144-35-0110) までご一報ください。

役場建設課からのお願い

雪捨て場について

雪捨て場は、厚真川右岸の公共下水道処理場手前(河川敷)に確保していますので利用してください。なお、搬出の際にはゴミや土砂などを混入しないよう、ご協力をお願いします。

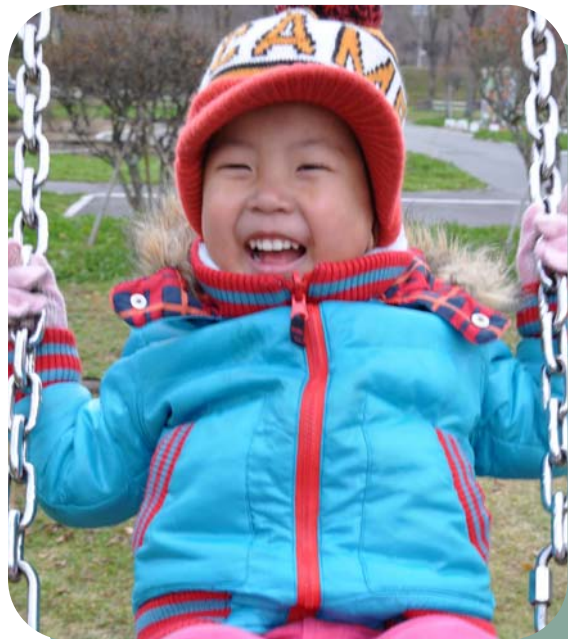
除雪作業の時には

これから冬期除雪の時期になります。町道や道道、歩道に車などの障害物を置かないよう、お願いします。

たけやま きりゅう
武山 喜竜くん
H 19・11・2 生
父— 富 雄さん
母— 明 香さん
(本 郷)

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「いつも陽気な子ですね。何事もお姉ちゃんが先にやらないとモジモジしちゃいます。『仮面ライダーW』のテレビやオモチャが大好き。最近は家でパパと一緒に洋画を見るのがお気に入りです」



てらさか いちか
寺坂 泉慶くん
H 19・12・21 生
父— 隆 史さん
母— 伸 栄さん
(本 町)



まちのアイドル 332

●— わが家のアイドルはこんな子です。—●

「お兄ちゃんのマネをよくしてますね！たまにはケンカもするけど、とっても仲良し。最近は階段などから『ジャンプ』することにはまってるんですよ。親子で自衛隊の航空祭が大好きなんです」

■今月の表紙

11月3～4の両日、町民の文化芸術活動の集大成である「町制50周年記念厚真町文化祭」が行われました。

各会場では文化協会加盟団体などから出品された作品や各団体、個人の熟達した芸能が披露されていました。

■今月の内容

厚真町広報の58年	いいききふるさと図鑑
公共施設等の年末年始	みんなの広場
町文化祭	まなびや
安平・厚真行政事務組合	国民年金
まちの話題	健康情報・ほけんの掲示板
H23年度役場臨時職員の募集	情報ひろば

2010年 12月
NO. 700

11月末現在の人口
4,900人(前月比 - 1)
男 2,388人／女 2,512人
世帯数 2,040(前月比 - 3)